

2学期もいきいきと活躍する和知の子を目指して

基本的な考え方



- ◇本校教育のよさを継承しつつ、変えるべきは変え、児童の変容を促し、人・物・事の接続を
- ◇子どもも、教職員も積極的に挑戦する気持ちを大切に。
- ◇和知の子の輝きを、Watching(和っ知んぐ)〈見る、見続ける、見守る〉

学校経営の重点



これが本校の社会科学習

研究構想図

《学校教育目標》
元気が一番、輝け！和知の子

【児童の実態】
○落ち着いた雰囲気で見事に学習に取り組める。
○学習へ向かう姿勢がしっかり身に付いている。
○思いや考えを話そうとする力が伸びてきている。
●学習の場において自己判断、自己決定をし、考えを表現する力に弱さが見られる。

【地域・家庭の実態】
○恵まれた自然環境がある。
○地域全体で子どもを育成するあたたかい雰囲気がある。
○学校に協力的で学校への期待も大きい。
○地域の伝統・文化を大切にした生活様式が根付いている。

《研究主題》
伝え合い、学び合う力の創造
～地域とつながり、地域から学ぶ社会科学習～

《社会科学習を通してはぐくみたい児童》
『主体的かつ協働的に学び、社会的な見方・考え方を身に付け、夢と希望を持って未来を切り拓く元気いっぱいの子』

社会的な見方・考え方の育成のために高めたい4つの力

思考力 判断力 表現力 創造力

伝え合う力

- 伝え合うための話す力
- 伝え合うための聞く力
- 伝え合うための書く力
- ◎思考をまとめる力

- 地域で学び(高学年)、地域を学ぶ(中学年)ことで身に付く思考力
- 生活科(低学年)と社会科(中高学年)の学習でふれる社会的事象を理解し、表現する力
- 学びから得た知識を生かし、適切に取捨選択できる判断力
- 未来社会を切り拓くための知恵と創造力

学び合う力

- ◎友だちの考えを自分の考えと比べながら聞く力
- ◎多様な価値観を理解しよりよい考えを選択創造する力

関心意欲 自己有用感 自己存在感 共感的人間関係

和知小学びのスタイル「ひ・み・つ学習」
ひーひとりで学び(自ら課題を見つけ進んで学ぶ) - 【主体的な学び】
みーみんなで学び(比較・関連づけ・総合) - 【協働的な学び】
つーつながる学習(児童どうし・児童と地域社会・昔と今、そして未来) - 【深い学び】

わたしたちの和知・京丹波町・京都府の【人・もの・ことをつながり】

10月27日(木)

京都府小学校教育研究会
社会科部2次研究協議会